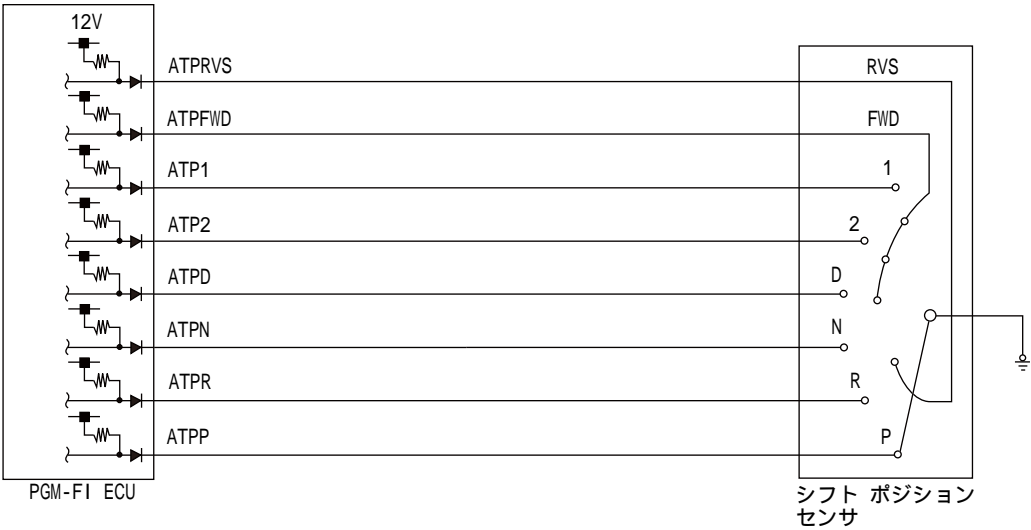


# DTC 解説

## DTC P0706: シフト ポジション センサおよびセンサ回路断線 (AT システム)

### 検知原理解説



01\_P0705C\_SYYPB00

セレクト レバー シフト ポジション センサ接続表

セレクト レバー	シフト ポジション センサ信号入力							
	P	R	RVS	N	D	2	1	FWD
P		x	x	x	x	x	x	x
R	x			x	x	x	x	x
N	x	x	x		x	x	x	x
D	x	x	x	x		x	x	
2	x	x	x	x	x		x	
1	x	x	x	x	x	x		

： L0 信号 - クローズ (0V)

×： HI 信号 - オープン (5V もしくは 12V)

シフト ポジション センサは、トランスミッションのコントロール シャフトに固定されている。運転者のセレクト レバー操作により、コントロール ワイヤを介しコントロール シャフトが回転する。コントロール シャフトの回転角度による L0/HI の信号で、どのポジションが選択されているかをシフト ポジション インジケータに表示している。また、コントロール シャフトはシフト ポジション センサの操作とともに、マニュアル バルブを操作することによりトランスミッションの前進 / 中立 / 後退の油圧切替えも行っている。PGM-FI ECU は、シフト ポジション センサからの信号を、変速スケジュールを決めるために使用する。PGM-FI ECU の入力端子電圧は、シフト ポジション センサ内の各スイッチがオープン時は HI、クローズ時は L0 となる。FWD ポジション信号がオープン (HI) の状態で車両が所定車速まで加速、停止を繰返した場合、PGM-FI ECU はシフト ポジション センサの断線故障と判定し、DTC をストアする。

# DTC 解説

## 検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
( 当該 DTC の ) 検知順序	なし
検知所要時間	再現テスト手法による
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法 )、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 消灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle( ドライブ サイクル )

## 検知実行条件

条件項目	下限	上限
バッテリー電圧 [ バッテリー電圧 ]	11V	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0705、P0721、P0722	

[ ]: HDS パラメータ

## 故障判定基準

セレクト レバーで D もしくは 2 ポジションが選択されていて、10km/h 48km/h 10km/h の車速 [ 車速 ] 変化時に FWD ポジション信号 [ フォワード SW] が検出されない場合。

## 推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とシフト ポジション センサ間コード ( 各スイッチ ライン ) の断線 ( カブラ外れ、もしくは緩みを含む )
- ・ シフト ポジション センサの故障
- ・ コントロール ワイヤの調整不良
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

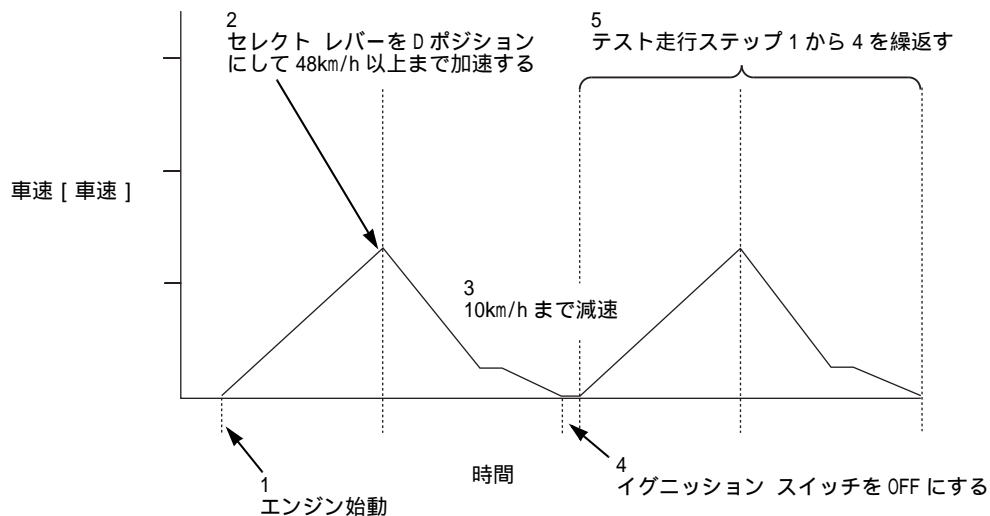
# DTC 解説

## 再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法



01\_P0706D\_TM8A00

1. エンジンを開始する。
2. セレクト レバーを D ポジションにして 48km/h 以上まで加速する。
3. 10km/h まで減速する。
4. イグニッション スイッチを OFF にする。
5. テスト走行ステップ 1 から 4 を繰り返す。
  - ・ テスト走行を行う際は、法令遵守の上、マナーを守り周囲の状況に即した運転をすること。

## DTC のストアとクリア

### DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅することなく、DTC およびフリーズ データがストアされる。

### DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しによりテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。